

# 九十九里町地域公共交通計画の概要



KUJUKURI Town

## 計画の概要

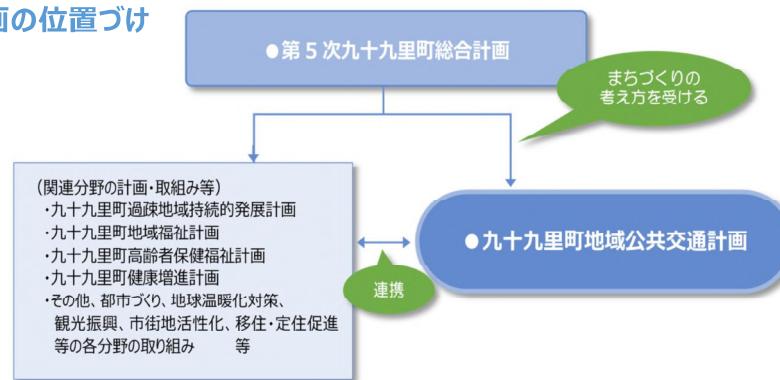
本町の公共交通については、東金市、山武市、大網白里市へつながる路線バス、東京や千葉市等の都心へつながる高速バス、これらを補完するタクシーが運行しており、これまで、町や運行事業者による種々の取り組みを行ってきました。しかしながら、昨今、人口減少の本格化、町民のクルマ中心の外出スタイルや、運行事業者の乗務員不足の深刻化等にともない、利用客の減少、運営の悪化、サービス縮小の悪循環を引き起こし、公共交通の確保・持続が厳しい状況となっています。

その一方、本町では、高齢化率がすでに40%を超える後も進む見通しであり、クルマに依存していた多くの高齢者が運転免許を返納することも想定され、暮らしやまちづくりを支える公共交通の役割は、ますます重要なと考えられます。しかし、町内にはバスが運行していない地区が残っており、バスがあっても利用する町民が少なく満足度が低い等の現状にあります。

このような中、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」(平成19年(2007年)法律第41号)が平成26年(2014年)、令和2年(2020年)、さらに令和5年(2023年)に一部改正され、地域の関係者の連携・協働(共創)を通じ、利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通へ再構築を進めることとされています。また本町のまちづくりの最上位計画である「九十九里町総合計画」において、「公共交通の利用促進」(持続への支援の強化、利用環境の向上、町民への周知、意識の醸成)、「交通手段の充実」(高齢者等の交通サービス等の支援)を主な取り組みとして掲げています。

これらの背景から、この度、本町にとって望ましく持続可能な地域公共交通の実現に向け、町民・利用客、各公共交通の運行事業者、各分野の関係者・行政等が一体となって取り組みを進められるよう、今後の取り組みの方向性、考え方を示すマスターplanとして「九十九里町地域公共交通計画」を策定しました。

## ●計画の位置づけ

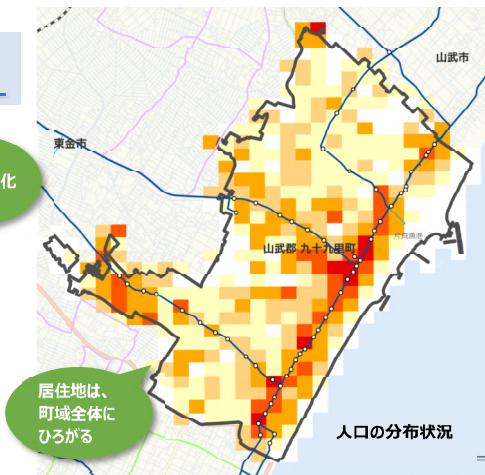
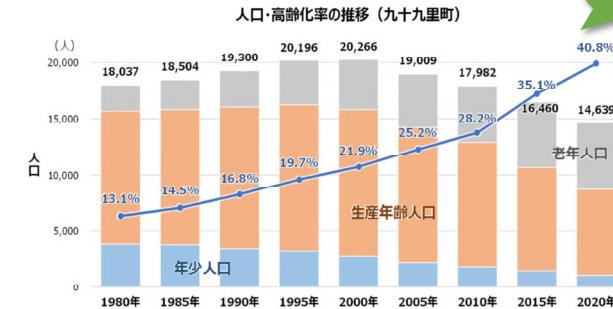


## ●計画の区域： 九十九里町全域

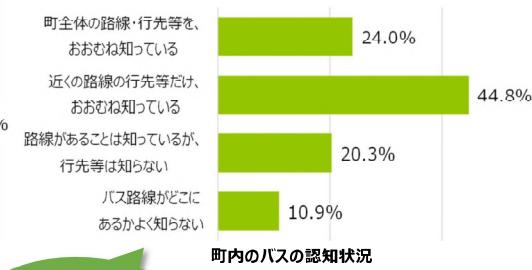
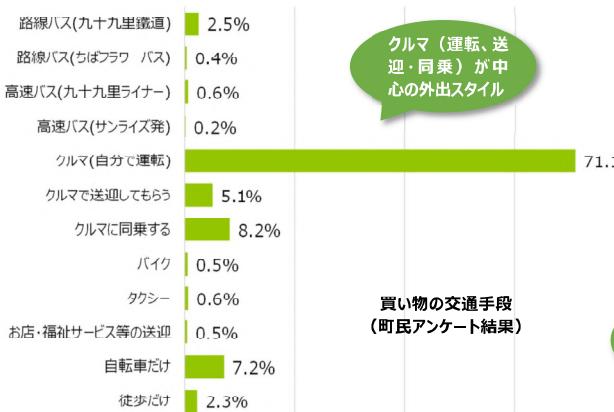
●計画期間： 令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)の5年間

## 九十九里町の現状 (主な状況)

- 本町では、人口減少、少子・高齢化が進んでいます。
- 居住地は、町域に広がっています。



- 本町に鉄道駅はなく、複数の事業者による路線バス、高速バスが運行し、本町と東金駅、成東駅、大網駅や、東京駅、千葉駅方面をつないでいます。バス等の補完として、タクシーが運行しています。
- 町域全体を路線バス等でカバーするには限界があり、バス停の利用圏域以外にも人口が分布している状況です。
- 一方、いずれの公共交通も利用客数が少なく、コロナ禍でさらに減少しました。それに加え、全国的に乗務員の不足・高齢化が深刻化し、きわめて厳しい運営状況となっています。
- 外出で、クルマ（自分で運転、送迎・同乗）を利用する町民が半数であり、公共交通を使う町民は、きわめて少ない状況です。
- バスことをよく知らない町民も少なくなく、使えるときでも利用されていないのが現状です。



## 九十九里町の公共交通がめざすべき姿・方向性

### ■ 九十九里町の公共交通がめざすべき姿（基本理念）

みんなで考え、みんなで使って未来につづく  
公共交通が、日々の暮らしやまちづくりを支え、  
にぎわいのある九十九里の実現  
をめざします。

### ■ 今後の取り組みの方向性（基本方針）

方向性1 町の公共交通を将来にわたり持続します。  
(バス・タクシー)

方向性2 地域の実情に応じた外出手段を確保し、  
日々のお出かけを便利にする調整・工夫をします。

方向性3 使ってみたくなる利用環境をつくります。  
(わかりやすさ・やさしさ)

方向性4 クルマだけでなく、使える時には少しずつでも公共交通  
を考えるように、意識の変容を促していきます。

方向性5 まちの賑わいに貢献する方策を模索します。



現在のネットワークの構成を活かし、地域の実情に応じた見直しや新たな公共交通サービスの可能性、公共交通以外のサービスとの連携を検討しながら、将来まで持続することをめざします。

## 今後に向けた取り組み（事業）

- 計画期間において、検討、調整、試行等を行なながら、5つの方向性にもとづく下記の取り組みを進めていきます。

方向性1	取り組み 1-1 路線バス・高速バスの利用促進と持続的な運行	方向性4	取り組み 4-1 町民へのPR活動
	取り組み 1-2 日常的な利用客（固定客）の確保		取り組み 4-2 免許返納を考える人へのサポート
	取り組み 1-3 効率的・安定的な運用の方策の検討・実施		取り組み 4-3 町民が乗る機会・考える機会の提供（モビリティ・マネジメントの取り組み）
			取り組み 4-4 地域主体で考える機会のサポート
方向性2	取り組み 2-1 町民の外出手段の効率的な確保	方向性5	取り組み 5-1 観光等に便利な運行方法の工夫・試行
	取り組み 2-2 町民の外出の利便性向上のための運用・運用方法の工夫		取り組み 5-2 観光と公共交通が連携した企画等
	取り組み 2-3 学生等の利便性向上の方策		取り組み 5-3 その他、来訪者の利便性の充実
	取り組み 2-4 福祉と連携した外出等の支援		
方向性3	取り組み 3-1 町の公共交通全体のわかりやすさの充実		
	取り組み 3-2 乗り場での案内（現地でのわかりやすさ）の充実		
	取り組み 3-3 主要な乗り場での待合環境の充実		
	取り組み 3-4 人にも地球にもやさしい利用環境の充実		



## 今後の進め方

- 計画を進めるに当たっては、PDCAのサイクルによる継続的な取り組みを行い、必要に応じて適宜改善を図っていきます。
- 取り組みの方向性に対し、達成状況を測るために「ものさし（目安）」として、評価指標と目標値を設定しチェックします。
- 計画全体の進捗確認や結果の評価・検証は、「九十九里町地域公共交通会議」において行います。



	R6年度 4 7 10 1	R7年度 4 7 10 1	R8年度 4 7 10 1	R9年度 4 7 10 1	R10年度 4 7 10 1
Plan		次年度の計画・調整	次年度の計画・調整	次年度の計画・調整	次年度の計画・調整
Do				取り組みの実行	
Check		前年度の確認	前年度の確認	前年度の確認	前年度の確認 全体の評価・検証
Action		更新・見直し等	更新・見直し等	更新・見直し等	更新・見直し等